

(2)

本稿では後者の方式を実施した場合を前提として、以下の解析を行った。

2.2 フェライト域近傍の圧延負荷・温度特性

予備試験として、大阪大学の試験圧延機を使用し、低炭素鋼材をフェライト域を含む温度域で熱間圧延試験を行った。

試験圧延条件を次に示す。

試験圧延材料

鋼 種 低炭素鋼 (C 0.04 % , Mn 0.12 % ,
Si 0.02%)

寸 法 板厚 3 mm × 幅 30 mm × 全長 500
mm

試 験 機

装置名称 高速熱間圧延試験装置 (大阪大学)

圧 延 機

型 式 2HI 型圧延機

ロール径 530 mm

圧延速度 6 ~ 45 m/s

加 熱 炉

型 式 ミル入よ 釜よ己呀

討対象設備例の薄鋼板実圧延に近いため，ケース - R

総圧下率を2%

